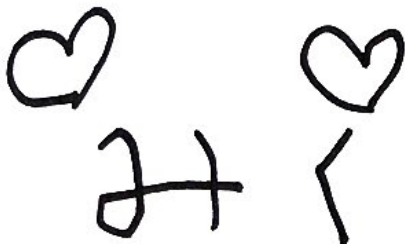
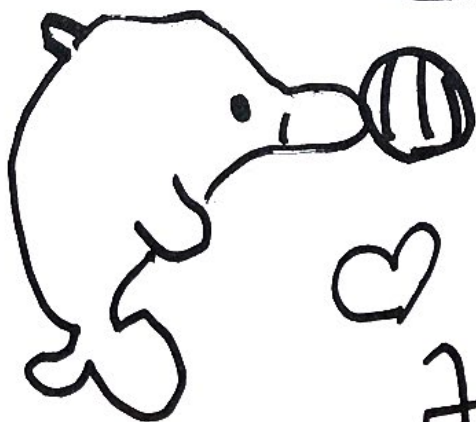
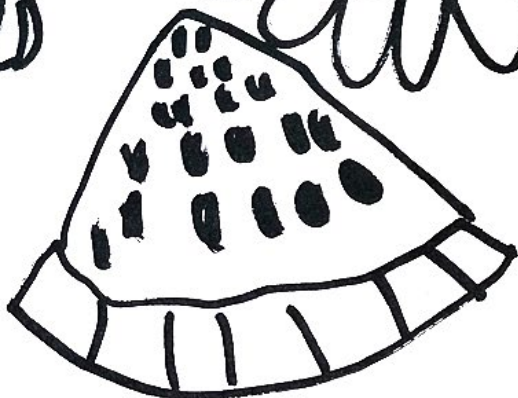
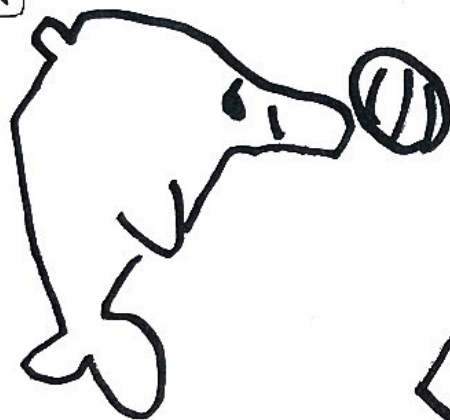
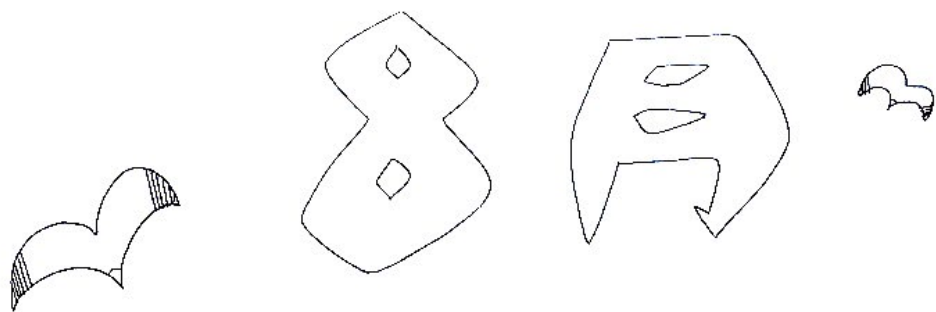


☆  
とよたち♡  
美肌通信♡





今月号のとびたち美肌通信の表紙は、

仲丸のイルカたちが、楽しそうにボールで  
あそんでいます！

大きなスイカもとてもおいしそうですね😊

暑い夏にぴったりの素敵な絵です。

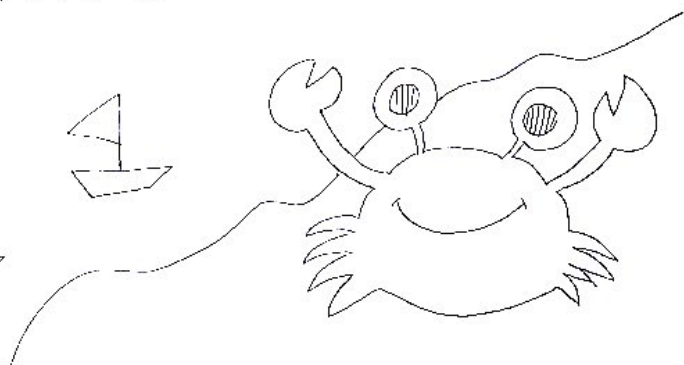
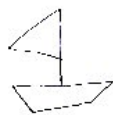
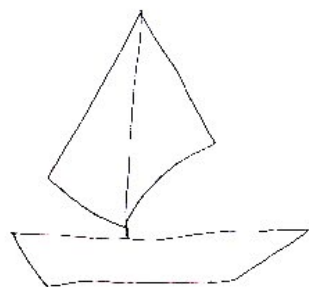
うんていをしたり、ダンスをおどる事が

好きな女の子が描いてくださいました！！

ありがとうございます。

院長はじめ スタッフ一同

バリエーション感謝いたします。



先月の「とよ・たち美肌通信」ではニーチェの  
「汝足下を掘れ そこに泉湧く」という言葉を紹介した。  
この大本は明治の文芸評論家である高山樗牛<sup>ちぎゅう</sup>氏  
が、「己の立てるところを深く掘れ、そこには必ず  
泉あらん」と説き紹介したことで有名になったもので  
ある。この言葉に各界の傑物達も鼓舞されたと  
言う。そのうちの一人、画家の中川<sup>なかがわ</sup>一政氏はこう残  
している。「愚かなる者よ、汝の足下を掘れ。そこ  
には大なる泉が湧き出す」。この愚かなる者よ  
とは、大勢は自分の足下にこそ 泉が存在している  
事に気がつかないでいることを示しているのであ  
らう。自分の足下を掘っていたら必ず 泉が  
湧いてくることを忘れている。あっちに行ったら水  
が出ないか、こっちに行ったら水が出ないかと思っ  
ているけれど、泉は己の足下にこそ存在している。  
言いかえれば、与えられた仕事を粛々と地道に  
継続し続けた先に 他の誰にも到達出来ない  
自分だけの泉があるのだ」と言うのであろう。

人生を成功に導く人は自分に与えられた縁や人間関係、今置かれている仕事や環境にその価値を見い出し大事にしていくが、成り上がらない人は自分の手元にあるものの価値に気がつかず粗末にしている人が多いと思う。

生き方や人生の要諦に関する書物には、必ずといってよい程登場する松下幸三氏や稲森和夫氏は、異口同音にこう唱える。「失敗したところで止めてしまうから失敗になる。成功するところまで続けければそれは成功になる」。この言葉通り、例えば失敗を繰り返しても最後に成功すれば、過程で経験した失敗は成功を生み出すための知見になると言うことである。

苦難にあった時、逃げたくなる気持ち、目を閉いたくなり、蓋をしたくなる時は誰にでもある。しかし前述した我が泉を掘りあせるため、その時こそ意地やプライドはここで発揮すべきである。

院長、持